

# 「北空知」川づくり懇談会 ニュース 第1号

平成16年8月3日、平成16年度第1回「北空知」川づくり懇談会を開催しました。

第1回「北空知」川づくり懇談会を、以下のとおり開催しました。

- 日時：平成16年8月3日（火）  
14:00～16:00
- 場所：妹背牛町 コミュニティプラザ

当日は、委員15名（代理出席1名含む）が出席しました。座長挨拶の後、平成16年度の第1回目ということで、昨年度の懇談会について概要説明をおこないました。

次いで、平成16年度北空知河川事業所の事業概要の説明と石狩川流域委員会についての情報提供がありました。

その後、第1回懇談会のテーマである「旧川の保全と利用について」の説明が事務局からあった後、各委員の方々による自由討議を行いました。



## 旧川の保全と利用について

旧川の現状は、長田樋門・深川芽生樋門ではギンブナ、ヤチウグイ、イバラトミヨ等の多くの魚類が生息しています。水質も概ね環境基準値を満足しており良好な河川環境となっています。また雨竜川捷水路旧河道部でも多くの生物が生息し、エゾミクリ（植物）、カワセミ（鳥類）等学術上または希少性の観点から注目すべき種も確認されています。

現在の取り組みですが、妹背牛町では、減農薬米の栽培に寄与するため、田圃の畔にハーブを植えカメムシ防除に全町で取り組んでいます。また、田圃や市街地の景観づくり、ハーブを利用した特産品の開発、食材としての利用等ハーブによる町おこしを進めています。北空知河川事業所では、地域と連携した事業の推進を勘案して事業所管内の堤内敷地にハーブを妹背牛町と協働で植栽し、生育状況の調査検討を進めています。今後の取り組みとしては、長田樋門・深川芽生樋門では、石狩川丘陵堤工事により旧川の一部が堤防断面内に入り消滅することとなります。今後はミティゲーション（代替処置）を行い、現状の河川環境を極力改変させないよう検討を進めていきます。また雨竜川捷水路旧河道部では、今後周辺住民とのワークショップを行い、旧川部の保全と利用について検討を進めていきます。

## 「北空知」川づくり懇談会の委員（五十音順）

一宮 克彦	(深川青年会議所理事長)
植田 顕治	(秩父別町山川草木を育てる会副会長)
小島 勝美	(深川柔道連盟)
小林 四郎	(幌加内町そば活性化協議会事務局長)
佐々木 新一	(深川土地改良区参事)
高島 光雄	(雨竜町みどり少年団長)
波蓮 賢司	(深川野鳥の会)
前林 哲夫	(前妹背牛町議会議員) (副座長)
渡辺 正夫	(沼田奔川河川改修事業整備促進期成会会長)

### 行政担当者

池田 親司	(妹背牛町 建設課統括官)
扇谷 政美	(北竜町 建設課長)
田湯 俊博	(雨竜町 建設課長)
戸田 保	(秩父別町 建設課長)
村端 裕	(深川市 建設課長)
神 憲彦	(沼田町 建設課長)
道添 良則	(幌加内町 建設課長)

### 河川管理者

長南 道雄	(北空知河川事業所長) (座長)
-------	------------------

### オブザーバー

高花 建治	(札幌土木現業所 深川出張所長)
大友 富美男	(空知支庁 北部耕地出張所長)

## 第1回懇談会での主な意見

事務局から旧川の保全と利用をテーマに、現状の河川環境、現在実施している取り組み、今後予定している取り組みについて説明があった後、自由討議を行いました。主なご意見を紹介いたします。

### 旧川の保全と利用について

- ・ 妹背牛町では、雨竜川捷水路部において、都市交流などを目的に町民あるいは町外の希望者によるハーブの花壇を整備したいと考えている。ハーブの管理は基本的には個々にお願ひし、エコトイレ、駐車場、水道、総合学習展望台等の施設と、遊歩道、ウォークラリー、植樹等を併せて一体的に整備を行っていききたい。
- ・ 旧川のミティゲーション案については、川づくりの観点からぜひ成功させてほしい。
- ・ 長田樋門の周辺では、かつてコイがたくさん釣れたという話を聞いたことがある。そういった環境を復元するような整備をしてほしい。
- ・ 北空知周辺での渡り鳥のピークは4月下旬頃で、白鳥はおよそ4000羽程度である。宮島沼が過密状態のため、北上して雨竜川捷水路周辺まで来ていると思う。雨竜川旧河道部は湿地帯もありエサも豊富であるが、ビニール等のゴミが多いのが難点であり、鳥類の生息に影響するのではないかと危惧している。
- ・ 雨竜川の周辺を車で走ったときに、周辺の風景を見てこのような自然があったのかと再認識し、「癒しの空間」だと感じた。また、川に行くなという教育ではなく、水の大切さをもっと教えるような教育をすべきであり、ぜひ教育の場として整備してほしい。

### 環境教育について

- ・ 石狩川および雨竜川で、生徒を対象として自然、農業、水、生態系など総合的に教育する川の学校を開設してはどうか。夏休みに2回ぐらい川の中で植物や生物を調べて、川にはこのような生態系があるということを教えることにより、ゴミを捨

てなくなるといった教育が出来ると思う。

- ・ 水辺の楽校などをもっと利用したいと思っている。子供たちが川の中に入って遊べる場所や川に入って魚を見ることができるようなところがあれば利用されるのではないかと。
- ・ 沼田町ではホタル会を設立し、年間7000匹くらいのホタルが観察できる。魚類などを含めホタルの生息に配慮した整備ができたら良いと思う。

### 治水について

- ・ 旧川保全などを進めるにあたっては、水害のない安心した生活が必要だと思う。雨竜川流域に大きな雨が降った場合、幌加内町では数時間水に浸かっている地域がある。生産農家の多い北空知地区では、内水問題、河川構造物の維持管理、水質などについて考え、地域が安心して暮らせる川づくりが必要だと思う。

### 広報活動について

- ・ 旧川部の調査結果を見ると魚が多いので驚いた。ギンブナなどは近年減少していると思っていたが、調査結果では多く確認されている。このような事実をもっとPRしていくべきだと思う。

## 第2回 懇談会のお知らせ

第2回懇談会は、公開で行いどなたでも傍聴できます。テーマは引き続き「旧川の保全と利用について」の予定です。

開催日が決まりましたら、以下の場所に開催案内を提示します。

- ・ 市町の揭示板
- ・ 石狩川開発建設部、北空知河川事業所の揭示板

是非ご来場下さい。

ご意見やお問い合わせは、事務局

石狩川開発建設部 北空知河川事業所

〒097-0502 雨竜郡妹背牛町字妹背牛 482-1

TEL 0164-32-2470

FAX 0164-32-3449

まで、お気軽にお寄せ下さい